

令和8年3月定例会（とやま市議会だよりNo.90）

常任委員会（予算決算委員会）（市議会だより6ページ）

7年度富山市一般会計補正予算、8年度富山市一般会計予算など36件については、いずれも原案のとおり「可決」、「承認」した。

・総務環境分科会

7年度富山市一般会計補正予算、8年度富山市一般会計予算など9件について、審査した。

企画事務費（当初分）

委員 総合計画策定等事業において、第3次富山市総合計画の策定に向けた市民説明会を開催するとのことだが、開催地域についてどのように考えているのか。

市 市民説明会は、今年9月と来年2月に、市中心部のホールでの開催を予定している。

また、市民の皆さんが多く集まる地域の行事等に合わせて説明パネルを展示し、内容を説明しながら意見を聴取するオープンハウス方式による説明会の実施についても検討を進めている。

委員 総合計画の策定にあたっては、さまざまな方から意見を聴取することが大切であることから、例えば大学生を対象とした説明会の開催を企画すべきだと思うが、どのように考えているのか。

市 大学生などの若者からの意見聴取は非常に重要なことだと考えていることから、オンラインプラットフォームを活用して、学生や子育て世代など、会議への参加が困難な市民の方々の意見を募る環境を整えたところであり、実際に20歳代、30歳代からの意見が約半数を超えるなどの成果も得られている。

また、オープンハウス方式による説明会を大学のキャンパスやショッピングセンターなどで実施することについても検討を進めている。

企画事務費および展覧会開催事業費（当初分）

反対意見 シクロシティ株式会社に支払う広告掲出に係る費用の支出については、利用料収入だけでは採算が取れないと思われる自転車市民共同利用システム「アヴィレ」の運営費用を補填する目的で、年間基本金額2,100万円を業務の対価として支払う契約がベースにあり、市民文化事業団から支出する分と合わせると、年間3,000万円を超える予算となっている。

自転車市民共同利用システム「アヴィレ」自体については、8年度にようやく見直しが検討されることになっていることから、これらの支出も早く見直して、ほかの事業に有効に使ってほしい。

賛成意見 当該広告については、市民の移動が多い動線上において、年間を通じて効果的に情報発信がなされており、富山市の施策を届ける重要な手段となっている。

加えて、その仕組みは、これまで富山市中心部の回遊性や利便性を支える一端も担っており、単なる広報費としてではなく、都市機能を支える投資として評価すべきである。

また、これらの広告が既に富山市の景観の一部として定着し、市民の日常に溶け込んでいる点についても、情報発信と景観形成が両立されている事例として、一定の評価がなされるべきである。

システム全体としては、不断の見直しを行うべきであり、今後、議論が進むものと思うが、当該広告掲出に係る予算については妥当である。

・厚生分科会

7年度富山市一般会計補正予算、8年度富山市一般会計予算など12件について、審査した。

8年度富山市病院事業会計予算（当初分）

委員 8年度に実施予定の医療器械の更新や施設整備など、必要な情報を必要な方へ届けることができるよう、InstagramなどのSNSを活用した患者目線での分かりやすい情報発信が大切であると考えているが、今後、広報についてどのように取り組んでいくのか。

市 患者に向けた広報については、これまで弱かった部分であり、現在、ホームページの全面的な見直しや病院内に設置しているデジタルサイネージの運用の見直しを進めている。

また、市民病院の公式Instagramを新たに開設したところであり、その運用に取り組んでいくこととしている。

多子世帯応援事業費（当初分）

委員 +One Babyアンケート事業について、7年度に第2子以降の子が生まれた世帯を対象とするとのことだが、どのくらいの世帯を見込んでいるのか。また、予算の内訳はどのようなになっているのか。

市 対象世帯は最大で1,300世帯を見込んでいる。

また、予算の内訳については、調査費を含めた事務費等で240万円、アンケート回答世帯に配布するデジタルポイントの費用として1世帯当たり2,000円、

1, 300世帯分の260万円を見込んでいる。

・経済教育分科会

7年度富山市一般会計補正予算、8年度富山市一般会計予算など12件について、審査した。

イマージョン教育推進事業費（当初分）

委員 国際交流活動事業において、マレーシアの2都市と協力協定を締結する意義は何か。

また、渡航に伴う経費は、どのようなものなのか。

市 国の選定にあたっては、子どもたちが実際にオンラインで交流する時間を考慮して、日本と時差の少ない国であり、また、子どもたちに英語を学ぶ必要性を感じてもらいたいことから、英語を第2言語とする国から選んでいる。

合わせて、英語を学ぶことで母国語が異なる人たちとも意思疎通ができるという実感を得られることに加え、これまでG7のりもの語り教育国際会議で中央小学校の子どもたちがマレーシアの子どもたちとオンラインによる国際交流を行った実績を踏まえて、マレーシアを選んでいる。

また、渡航に伴う経費は、協定を締結するための事務的な準備や、実際に現地を確認するといった教育委員会の事務局職員の渡航費である。

委員 もし時差が少ない国であれば、オーストラリアやニュージーランドも対象となるのではないか。

また、渡航する必要性は本当にあるのか。

市 発音を学ぶという点では、ネイティブな発音の国の子どもたちとの交流も考えられるが、英語を第2言語とする日本とではレベルに圧倒的な差がある。そのため、国際交流においては、英語が第2言語の国同士が行うことも非常に有効な場合がある。

ネイティブな発音は、日頃、ALTから聞くことができることから、外国語で何とか会話をしようという環境を作り出すためにも、英語を第2言語としている国からマレーシアを選んでいる。

また、交流という点では、対面ということも大切にし、マレーシア側の要望や思いの確認、オンラインの環境や協定に係る事務手続きを進めるためにも、実際に渡航することは必要であると考えます。

・建設分科会

7年度富山市一般会計補正予算、8年度富山市一般会計予算など11件について、審査した。

分団運営活動費（当初分）

委員 機能別学生団員確保事業について、市内の看護学生を対象にすることだが、目標人数は設定しているのか。

市 市内には看護学生が約1,000人いることから、その約10%に当たる100人を目標としている。

委員 機能別学生団員として確保する看護学生に受けてもらう訓練や講習について、どのような内容を考えているのか。

市 基本的な訓練に加え、大規模災害時の避難所での応急救護なども想定されることから、避難所開設に係る研修などを考えている。

花と緑の推進事業費（当初分）

委員 花でつなぐフラワーリング事業について、ハンギングバスケットの設置はこれまで継続して実施しているが、その効果をどのように検証しているのか。

市 毎年5月に開催している花と緑のフェスティバルにおいて、アンケート調査を実施している。その結果として、直近の2年間では、約70%の方がハンギングバスケットを知っていると回答されており、そのうち約95%の方から概ね良好な評価をいただいている。

一方、物価や労務費の高騰により、経費が増加傾向にあることから、ハンギングバスケットの設置期間の短縮や、花の種類の見直しなど、経費の縮減にも努めている。

<総務環境委員会>

富山市民プラザホールの指定管理者の指定の件、富山市事務分掌条例の一部を改正する条例制定の件など21件については、いずれも原案のとおり「可決」、「異議なしとの意見」とした。

【所管部局からの報告事項】

○企画管理部

- ・第5期富山市行政改革実施計画・富山市DX推進計画
- ・令和8年4月行政組織の一部改正

○財務部

- ・富山市市税条例の一部改正（案）
- ・富山市営駐車場の駐車料金

<厚生委員会>

富山市障害者福祉プラザの指定管理者の指定の件、富山市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件など27件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】

○病院事業局

- ・富山まちなか病院再整備基本計画の概要および再整備事業の一時凍結
- ・富山市病院事業経営改善計画

○こども家庭部

- ・学習支援講座モデル事業

○市民生活部

- ・第2次富山市スポーツプランの改訂

<経済教育委員会>

富山市牛岳温泉健康センターの指定管理者の指定の件、富山市公民館条例の一部を改正する条例制定の件など23件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

<建設委員会>

富山市火災予防条例の一部を改正する条例制定の件、富山市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件など16件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

富山市ファミリーパーク条例の一部を改正する条例制定の件（当初分）

委員 本条例の一部改正により、富山市ファミリーパークの休園日が増えることとなるが、動物福祉や施設の維持管理、職員の労働環境にどのような効果が期待できるのか。

市 動物福祉の観点からは、来園者のいない静かな時間を確保することで、動物のストレス軽減が図られると考えている。また、来園者を気にせずに、健康診断や治療を行う時間を確保できることによって、動物の健康管理の質が向上すると考えている。

施設の維持管理の観点からは、点検、修繕作業の安全性や精度、効率性の向上が図られると考えている。また、突発的なトラブルが起きたとしても、柔軟に対応できる余裕が生まれるものと考えている。

職員の労働環境の観点からは、人員シフトの柔軟化と計画的な休暇取得が可能となり、長時間労働の抑制が図られ、働きやすさの改善が行われることによって、離職率の低下や新規採用者にとっての魅力向上にもつながることを期待している。

【所管部局からの報告事項】

○上下水道局

- ・令和8年4月上下水道局の組織改正
- ・契約金額1億5,000万円以上の工事請負契約
- ・私道に布設された給水管修繕に係る費用負担の取り扱いの見直し
- ・下水道管路マネジメントの強化
- ・富山市ウォーターPPP事業（下水道管路）の基本方針（案）
- ・月岡西緑町地内に富山県住宅供給公社が残置した不明管問題

○活力都市創造部

- ・南富山駅周辺まちづくり基本計画（案）の概要